

就職環境の変化

企業の採用意欲は依然として高く、平成30年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.78倍(昨年1.74倍)となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数はわずかですが増加の傾向にあります。

またここ数年就職活動の時期が変更になっていますが、今年度は変更なく求人情報の公開時期は大学3年生の3月、採用選考時期は大学4年生の6月となり、短期間での活動が求められることとなりました。本学でもこの状況に対応すべく低学年時からのインターンシップへの参加支援強化やガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底、支援イベントの時期や内容変更をはじめとして、さまざまな対応を行ってまいりました。その結果、今年度も多くの学生から良い結果報告をうけることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなってきていると感じています。今後も引き続いて全学生に対して、準備の大切さを伝えていきたいと思っております。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まっています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援をはじめとするグローバル化への対応も一層進めております。

来年度、平成31年3月卒業生は採用選考時期が今年度と同様となる予定です。就職活動の時期の変更はありませんが、国内外の経済や政治の変動による環境の変化の可能性は高まっていると思います。学生が変化に戸惑わないように本学としても十分に対策をしてゆきます。保護者の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実

したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力で学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的にを行い、基礎から応用まで、幅広い支援をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを探索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

平成29年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の平成29年10月時点での国公立大学の平均内定率は「75.2%」となりました。本学では10月時点で学部生でも8割を超え、大学院生では約9割超の内定率となっております。人間科学部の保育業界志望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしてはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。